



face to face

向かい合って、
スマイル。

TAKE FREE

2025
vol. **94**

社会医療法人大成会
福岡記念病院 広報誌

特集

災害拠点病院として 災害と救急への取り組み

特集1 もしも大規模災害が起きたら
— 災害拠点病院の役割と備え

特集2 院内で行われる救急救命教育活動

整形外科 新任医師紹介

つながる医療 連携施設のご紹介





01

もしも大規模災害が起きたら

—災害拠点病院の役割と備え

災害は起こります
だからこそ備えが大切です

日本は地震や豪雨などの災害が多い国です。2023年の能登半島地震や2016年の熊本地震のように、日常が一瞬で奪われることがあります。

当院は災害拠点病院として、厚生労働省のDMAT(Disaster Medical Assistance Team: ディーマット)という、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職および事務職員)で構成され、災害時に急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームを有しています。

災害時に被災地へ派遣され、消防や警察の皆さんと協働したり、避難所で体調不良の患者さんの対応や生活の改善に介入したり、



政府主導 DMAT 訓練に参加した
当院 DMAT チーム(令和7年9月・函館)

「二人でも多くの命を助けよう」を目指して幅広く活動します。実際の災害対応の経験を生かして、病院や地域での災害対応勉強会を行い、防災グッズや備蓄を揃えたりなど日頃から準備を進めています。

災害時の体制

CSCA-TTTと治療の優先順位(トリアージ)



災害時は、たくさんの方の患者さんの受け入れを、少人数の医療者で行う必要があります。通常とは違う体制が求められます。当院では「院内災害対策本部」を設置し、指揮を取り、情報を集約して、病院機能の維持を検討します。そして正面玄関にはトリアージエリアを設け、治療の優先順位を評価する「トリアージ」を行い、最優先(赤)、次に優先(黄)、急がない(緑)、そして救命困難な方あるいはお亡くなりになった方を黒として4箇所にエリアを設けます。この一連の流れはCSCA-TTT(指揮・安全・通信・評価・トリアージ・治療・搬送)という行動指針に基づいて実施されます。

大規模事故・災害への体系的な対応に必要な項目

CSCA-TTT

院内災害対策本部

C : Command & Control 指揮・統制
S : Safety 安全確保・危険情報
C : Communication 情報・通信の確保・EMIS
A : Assessment 評価・情報管理・資源管理

災害医療活動

T : Triage トリアージ
T : Treatment 治療
T : Transport 搬送

0 : 黒タグ 優先順位：4位
救命困難

I : 赤タグ 優先順位：1位
最優先 重症

II : 黄タグ 優先順位：2位
赤の次に優先
治療が必要・待機できる

III : 緑タグ 優先順位：3位
急がない 軽傷

治療の優先順位





院内で実施された災害対応訓練の様子

災害対応委員会の発足

院内災害訓練の開催

災害拠点病院として、災害時の病院の運営体制や、たくさんのお患者さんの受け入れ体制についてあらかじめ決めておいたり、訓練をしておくことが重要です。災害対応の専門家であるDMAT隊員が中心となり、**災害時の初動を記載したアクションカード**を全部署で作成し、まずは会議やシミュレーションを通して内容の検討を行いました。今年度は委員会を発足し、年度末には、大規模な災害訓練を予定しており、継続的に病院の災害時体制について検証を行っていきます。また、連携している地域のクリニックや病院の皆様とも災害時に患者さんの受け入れや転送について検討します。

全職員に向けて災害勉強会の開催

災害時には、普段とは異なる体制での診療が求められます。当院では「最大多数の救命を目指す」ため、全部署の職員と一緒に学び、備えを進めています。勉強会では、押し寄せる患者さんに対してトリアージする医師、看護師、医事課職員が中心にトリアージタグの記載、災害時IDの発行を行い、その後、リハビリスタッフや看護補助者が赤、黄、緑などのエリアへご案内し、それぞれのエリアで医師、看護師が診察や治療を行う必要に応じて検査や入院を検討します。ただし、災害時に検査の器械が壊れている可能性もあり、通常のレントゲンや血液検査は出来ないかもしれ

現場指揮所・看護リーダー（アクションカード）

対象者：看護師
場 所：医事課受付内（但しマニュアル上は総合案内）
業 務：新設エリア（トリアージ・赤・黄・緑エリア）の統括

- ☐ チームビルディング
 - ・リーダーを決める
 - ・メンバーの役割を決め、目的を共有する
- ☐ 現場指揮所の立ち上げ
- ☐ リーダーの動きを把握し補佐
- ☐ リーダーの指示に従い、他部門への連絡及び人員要請
- ☐ 新設部門の必要物品（資器材・薬剤等）の調整
（不足があれば本部へ依頼）
- ☐ 入院患者の病棟を決める・EPIS（院内災害対応患者一覧）確認する
- ☐ 必要とする病床数を本部に確認・依頼
- ※以下、現場指揮所内メンバーの動きを把握・指示
- ☐ 現場指揮所のクロノロの作成
- ☐ 新設部門を随時的に巡回し、被災患者受入状況・収集された情報の把握・職員の不備等の状況把握
- ☐ 情報収集
- ☐ メッセージャー業務

災害時初動を記載してあるアクションカード

ません。最優先の患者さんに必要なだけの検査と治療を行い、当院から近隣病院やもっと大きな病院へでこばこ道を搬送する必要もあるかもしれません。あらゆる状況に対応できるよう、全部署が災害時にどのような対応をするか想像力を膨らませ、準備を続けてまいります。

ひとりずつが災害の備えを

災害はいつ起きても不思議ではありません。まずは自分が、自分の家族が食糧や水、懐中電灯など備蓄し、家族と連絡を取り合う方法、集合場所なども決めておいたり、近所の公民館や学校などの避難所で暮らす準備などしておくことが重要です。当院でも災害時の皆様のお困りごとの対応について、検査や治療など医療介入が必要なものの、あるいは避難所や福祉避難所など行政との連携が必要なものなどご相談に応じたいと考えます。



02

院内で行われる

救急救命教育活動

地域の救急医療を支える

当院は、昭和42年2月に救急告示病院として認可を受け、以来福岡市の救急医療の中心的存在として、地域住民の皆様がいつでも安心して診療が受けられる環境作りに取り組んでおります。救急医療の原点でもある「重症、軽症を問わず、先ず診療を」を基本姿勢として、365日24時間体制で診療にあたっています。

当院のER型救急システムは、「診断」を重視するシステムです。心肺停止、呼吸停止、ショック、呼吸不全、意識障害など救急時に現れる主症候と主訴をもとに、原因となる疾患を確定し、各専門科に引き継ぐまでの初期治療を行います。当院では、休日や時間外でも、必要に応じて各診療科の専門医にすばやく連絡できる「専門医オンコール体制」があります。当直医だけでなく専門医による診療・検査・手術がいつでも可能です。ER型救急システムの充実により、すべての救急患者を受け入れ、「断らない医療」を実践していきたいと考えています。

院内教育の充実

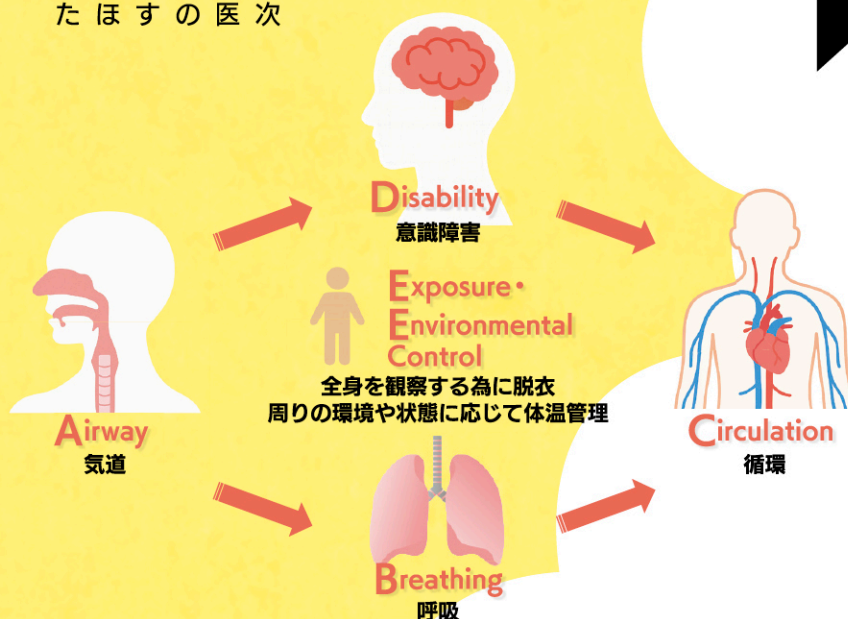
院内では事務職員も含めて全職員を対象に一次救命処置の研修を行っています。また特に研修医向け、看護部向けなど職種別に専門的な知識の向上を意識しています。救急科専門医が常駐する救急外来では、毎月の定期的な勉強会のほか、重症患者の実例をもとに症例検討会を行った



患者さんの観察に活用するABCDE評価

り、特殊な処置にともなう手技の詳細な確認など、病院の窓口の一つである救急外来の全体スキルアップ向上のため日々努力をしております。

今年度は災害対応に向けて体制を整えたり、準備を強化していることもあり、全職種向けの災害勉強会も実施しており、普段の救急対応、また病棟での急変対応などで患者さんの観察に活用するABCDE評価(Airway気道、Breathing呼吸、Circulation循環、Disability意識障害、Exposure脱衣・環境)の要素を再認識して、災害時のトリアージの訓練も行っています。



患者状態の観察に活用できる『ABCDE 評価』



心肺停止の対応を学ぶ医師と看護師たち

医師や看護師を対象に、医療従事者向けの専門的で国際標準の研修も当院で習得することができます。脳卒中や心筋梗塞など成人の救急対応に必要な知識や除細動治療などの技術を学んだり、乳児や小児の特徴を押さえた観察方法を学んだり、3ヶ月ごとに研修医や看護師向けの一次救命処置BLS、二次救命処置ACLS、小児の観察を学ぶPEARS、小児の二次救命処置PALSを開催しています。また院外のコースを受講する職員にも、院内勉強会を通して予習復習のサポートを行い、受講料を病院で補助するなど、職員の救命処置スキルアップを促進しています。ひいては地域の皆さんの救命対応、救命率向上を目指します。

AHA(アメリカ心臓協会)
国際標準研修の実施

当院で開催される医師・看護師向け専門的国際標準研修

一次救命処置 BLS

Basic Life Support

心臓や呼吸が止まった人、または喉に物が詰まった人に対し、救急隊が到着するまで一般の人でも行える応急手当です。主な内容は胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用で、心肺蘇生とAEDをできるだけ早く行うことが救命につながります。

二次救命処置 ACLS

Advanced Cardiovascular Life Support

心肺停止や重篤な心血管系の緊急事態に対応するための医療従事者向け処置です。

一次救命処置に加え、気管挿管、酸素投与、薬物投与、除細動、心電図の判読と治療などの高度な手技を含みます。

小児の観察 PEARS (ペアーズ)

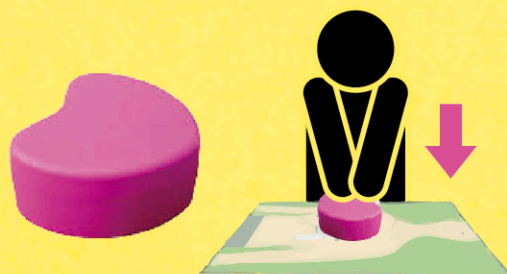
Pediatric Emergency Assessment, Recognition, and Stabilization

小児が心停止に至る前の兆候を早期に発見し、専門医に引き継ぐまでの救急評価・認識・安定化を学ぶ、アメリカ心臓協会 (AHA) 認定の研修プログラムです。

小児二次救命処置 PALS

Pediatric Advanced Life Support

心停止に至る前の重篤な小児の呼吸器・循環器の異常を発見し、心停止を防ぐための「予防・早期介入」と、心停止に陥った小児に対する質の高い「二次救命処置」を学ぶための、アメリカ心臓協会 (AHA) が認定する医療従事者向けの救命処置コース。



心臓部のスポンジを圧迫する
練習によって正しい圧迫強度を
手軽に習得できる

救急救命教育に使われている心肺蘇生トレーニングツール

PUSHコース、院内と地域への救命講習

救急車が来るまでに、しておくべきことがあります。救急車が来るまでに、心臓マッサージとAEDを使用しておく必要があります。今では3歳のお子さんから80歳代の方まで、自由に気軽に救命講習を受けられる時代になりました。小中学校や高校でも学校の授業で蘇生教育を行うことが文部科学省から推奨されており、大阪ライフサポート協会のPUSHプロジェクトは、2011年にさいたま市で駅伝の練習中に心臓突然死で亡くなったASUKAちゃんから生まれ、全国の保育園、学校、スポーツチーム、企業などで45分間の胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAED（自動除細動器）の使い方を効果的に学ぶことができます。当院でも看護師を中心に救命処置の復習の一環として専用のトレーニングツールを用いてPUSHコースを開催しています。



福岡県の小学校で実施された
PUSHコースの様子



院内看護師全員を対象に行われた
PUSHコース研修

押すと音が鳴るピンクのハートで、1人1個のツールを使い、しっかりとした胸骨圧迫ができているかを自分で確認することができます。ご希望だけでしたら、当院の救急医療に携わる医師や看護師が講師として、小学校やスポーツチーム、企業など地域の皆さんへPUSHコースを通して救命処置をお伝えさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

最後に
当院はこれからも地域の皆様のために発展し、尽力してまいります。2年後の新病院への移転を見据え、さらなる救急、災害対応の強化にも努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後に

3つのPUSH

胸をPUSH

突然倒れ、意識も呼吸もない人がいたら、AEDを要請するとともに119番通報し、直ちに、胸を強く押します（胸骨圧迫心臓マッサージ）。
胸骨圧迫により、止まってしまった心臓の代わりに、脳をはじめとした臓器に血液を送ります。胸を押すだけのカンタンな心肺蘇生で救えるいのちがたくさんあります。

AEDのボタンをPUSH

AED（自動体外式除細動器）が到着したら、音声指示に従い、安全を確認してショックボタンを押します。

あなた自身をPUSH

救急蘇生法の中で一番難しいのは、倒れた方に近づいて、声をかけることかもしれません。まず、勇気を持って、声をかけて下さい。そして、できることを何かしてあげて下さい。

PUSHとは

当院災害対応訓練・救急救命教育担当医師紹介



トルコ地震（2022年）国際救援活動時の写真

患者さんへ一言：

救急・災害対応は、日頃の備えが大切です。そばにいる大切な人を救う「Push コース」講習の開催をご希望の場合は、お気軽にご相談ください。

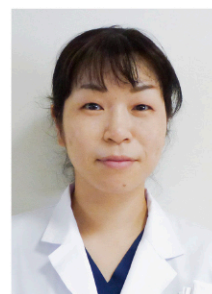
くさか

救急科・麻酔科 日下 あかり

卒業大学：H19 島根大学

認定：

- 日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医
- 日本救急医学会救急科専門医
- 日本小児麻酔学会認定医
- 社会医学系専門医協会 指導医
- 日本登山医学会 専門医
- 日本 DMAT 隊員、国際緊急援助隊 救助チーム 医療チーム
- PUSH プロジェクト認定インストラクター
- AHA アメリカ心臓協会 BLS・ACLS・PEARS・PALS インストラクター
- ITLS アクセス・インストラクター
- JPTEC・MCLS インストラクター



新任医師紹介

整形外科部長

まつなが たいき
松永 大樹



出身大学：福岡大学
2010年卒

資格・所属学会・専門分野等：

日本整形外科学会整形外科専門医、整形外科指導医
日本整形外科学会認定スポーツ医

2025年10月1日より整形外科で勤務することになりました松永大樹と申します。膝関節、股関節の変性疾患を中心にスポーツ障害や外傷の治療を担当いたします。特に、人工関節手術については十数万件／年（国内）が行われていると言われており、年々増加傾向です。その中の9割は膝関節、股関節であり、生活の質に関わるとされています。患者さん一人一人に合った治療（投薬、リハビリ、手術など）を適切に提供できるよう精一杯努めてまいりますので、少しでも関節痛でお困りの際にはいつでもご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

つながる医療 連携施設のご紹介

当院は「地域医療支援病院」として、地域医療機関と共に地域医療を支えています。

りゅう内科・外科クリニック

〔診療科〕 内科／肝臓・消化器内科
外科／漢方／小児診療

りゅう ともき
院長 龍 知記 先生



2025年3月に中央区大手門に「りゅう内科・外科クリニック」を開業しました。

地下鉄大濠公園駅から徒歩3分、西鉄バス荒戸一丁目／大手門三丁目のバス停から徒歩3分の箕子公民館の前に位置します。診療理念である「地域に寄り添い、健やかな毎日をより多くの人々へ」の実現を目指し、内科・外科を問わずに何でも気軽に相談ができる「地域のかかりつけ医」として、地域に貢献できるよう努めて参ります。また、私はこれまで急性期病院で消化器外科の中でも特に肝胆膵領域を専門として診療を行ってきました。これまでの経験を活かし、肝臓、胆のう、膵臓の病気を持つ患者さんに対しては専門性の高い診断・治療を行います。どうぞお気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○
14:30～18:00	○	○	○	／	○	／

※木曜・土曜は午前のみ。日曜・祝日は休診日となります。
※受付終了時間は診療時間終了の30分前です。



〒810-0074
福岡県福岡市中央区
大手門3丁目3-24
小金丸ビル 2F
【TEL】092-402-1011
【FAX】092-402-1012

当院診療科及び担当医表

(2025年11月1日更新)

学会・出張等により休診になる場合がありますので、各医師の担当日については事前にお問合せください。

診療科		月	火	水	木	金
救急科	午前・午後	竹内 広幸 石川 成人 高橋 慶多 日下 あかり				
脳神経内科 (神経内科)	午前・午後	黒田 康夫 長山 成美				
物忘れ外来	午後				馬場 康彦 第2週のみ	
糖尿病・ 内分泌内科	午前	辛嶋 健	辛嶋 健	辛嶋 健	辛嶋 健	九州大学 非常勤
感染症内科 リウマチ科	午前	向野 賢治	向野 賢治	向野 賢治	向野 賢治	
消化器内科	午前	保田 秀生	保田 秀生	保田 秀生 丸岡 浩人	内視鏡 検査	内視鏡 検査
	午後	保田 秀生	□	保田 秀生 丸岡 浩人	内視鏡 検査	内視鏡 検査
循環器内科	午前	舩元 章浩 久米田 洋志	舩元 章浩	舩元 章浩 久米田 洋志	舩元 章浩	舩元 章浩 久米田 洋志
内 科	午前	□	□	□	□	松岡 浩
	午後	□	□	□	□	松岡 浩
腎臓内科	午前	千原 純一	千原 純一	千原 純一	千原 純一	
呼吸器外科	午前・午後	本多 陽平	福岡大学 非常勤	本多 陽平	福岡大学 非常勤	本多 陽平
外科 消化器外科 大腸・肛門外科	午前	東 貴寛	御鍵 和弘	眞田 雄市	東 貴寛 御鍵 和弘	眞田 雄市
	午後	交代制				
脳神経外科	午前・午後	交代制	古市 将司	八木 伸博	溝田 新吾	福田 修志
整形外科	午前	松永 大樹	松永 大樹 相良 智之	島内 諒	松永 大樹 相良 智之	島内 諒
	午後	□	□	□	□	□
関節外科	午前	樋口 健吾		樋口 健吾		樋口 健吾
	午後	樋口 健吾	□	□	□	□
脊椎・ 脊髄外科	午前	吉松 弘喜	□	松原 庸勝	□	松原 庸勝
	午後	松原 庸勝	□	吉松 弘喜	吉松 弘喜 ※	吉松 弘喜
心臓血管外科 血管外科	午前	□	元松 祐馬	□	□	元松 祐馬
	午後	□	元松 祐馬	□	□	□

診療科		月	火	水	木	金
小児科	午前・午後	山崎 兼吾				
泌尿器科	午前	橋本 恭子 有吉 朝美	橋本 恭子 堤 茂高	橋本 恭子 堤 茂高	橋本 恭子 堤 茂高 有吉 朝美	橋本 恭子 堤 茂高
	午後	橋本 恭子	橋本 恭子 堤 茂高	橋本 恭子 堤 茂高	橋本 恭子 堤 茂高	橋本 恭子 堤 茂高
皮膚科	午前・午後	山田 絢子	山田 絢子		山田 絢子	
形成外科	午前・午後			藤本 将史	福岡大学 非常勤	
婦人科	午前・午後	山口 淑恵				
眼 科	午前	春野 佳子				
	午後	□	春野 佳子	春野 佳子	□	春野 佳子
耳鼻咽喉科	午前	新里 祐一 九州大学 非常勤	新里 祐一	新里 祐一	新里 祐一 九州大学 非常勤	新里 祐一
	午後	新里 祐一 九州大学 非常勤	□	□	新里 祐一 九州大学 非常勤	□
精神科	午前		内田 信哉	内田 信哉	内田 信哉	内田 信哉
	午後		内田 信哉		内田 信哉	内田 信哉
歯科 歯科口腔外科	午前・午後	大塚 秀一 大塚 智子				
放射線科	午前・午後	石岡 久和 國弘 敏之 放射線治療医				
麻酔科	午前・午後	竹内 広幸 秋吉 瑠美子 梅木 文 日下 あかり				
集中治療科	午前・午後	水山 勇人 鶴 昌太 林 哲也 竹内 広幸				
臨床検査科	午前・午後	久野 修資				
病理診断科	午前・午後	久留米大学病理				
研修医		内山 利幸 長田 佳憲 工藤 伶王 佐伯 祐太郎 坂口 太哉 迫 研至 杉 清悠 高野 晴也 藤野 裕子 松尾 吉朗 三善 裕太 村上 公哉 森田 大智				

※全脊椎内視鏡手術専門外来
□手術、検査、病棟

診療
時間

平日 …… 午前／8:30～12:00 午後／1:30～5:00

土日祝日休診 ※急患はいつでも診療します



社会医療法人大成会
福岡記念病院



発行日：2025年11月

発行者：古市 将司

〒814-8525 福岡市早良区西新1丁目1-35
TEL:092-821-4731 FAX:092-821-6449
URL: https://kinen.jp/ E-mail: info@kinen.jp

